



ルーテル学院大学 日本ルーテル神学校 後援会

News

(151)

2023年9月1日
発行
ルーテル学院大学
日本ルーテル神学校
後援会
編集
推進委員会
http://www.luther.ac.jp/
〒181-0015
東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL:0422-31-4611
FAX:0422-33-6405

ご支援に感謝

ルーテル学院大学 学長 石居 基夫



いつもルーテル学院
大学と大学院、日本
ルーテル神学校を覚え、
お祈りとお支えをいた
だいておりますこと、心から感謝申し
上げます。

この後援会ニュースが発行される九
月一日は、関東大震災からちょうど百
周年を迎える日となります。多くの方
が被災されたことを改めて心に留め、
また近年の様々な自然災害によって苦
しみの中にある方々も覚えつつ祈りを
新たにしています。

あの関東大震災では十万人以上の
方々が崩壊や火災によって命を落とさ
れました。また命が助かって、家族
を失うような状況の中で多くの高齢の
方々や女性や子どもたちなど、社会的
に弱い立場にある方々が生きていくこ
とへの不安と困難を抱えることになり
ました。今日のように地域福祉の
整っていない時代でしたから、公共の

取り組みではとても追いつかない事態
の中、キリスト教会は、全国からの支
援に加え、海外の教会とのつながりに
支えられ被災地支援を展開しました。
ルーテル教会もその一つで、信頼され
たその働きは被災者支援にとどまら
ず、後に二つの社会福祉施設となりま
した。

このように、キリスト教の信仰はこの
世の困難に向かい合い、「共に生きる」
ための具体的なカタチを作ってきました。
ルーテル教会の宣教は特に福音を
宣べ伝えると共に、困窮する人々と
共に生きる社会福祉の事業と、人材育
成の教育事業を一体のものとして取り
組んできたことがよくわかります。こ
こにルーテル学院の教育と研究の原点
があることを改めて思い起こすのです。
社会福祉、臨床心理という対人援助
の源流は、キリスト教信仰の実践的な
歩みの中に見出されます。一人ひとり
の生活と人生に寄り添って慰めや癒し、

支えを私たちはどうやって作っていく
ことができるのか。それぞれに神様に
与えられたいのちを支え合う、助け合
う中で、ウェルビーイング(幸い)を实
現していくように、私たちは神に招か
れているのです。その招きに応えるよ
うな学びを作っていくと願ってい
ます。

現代世界は、災害ばかりでなく、人
と人、そして人と自然との関係が崩れ
て、生きづらさを作り出し、深い不安
が広がっています。虐待やいじめから
社会的な抑圧や戦争に至るまで、非人
間的な力が私たちを蝕んでいるのです。
人間とは何か、世界とはどのようなも
のなのか。私たち自身の弱さや責任につ
いて深く考え、自己と他者への理解を
深め、共に生きるための力をつけてい
けるような教育が、今こそ求められて
いるのではないのでしょうか。現代におけ
るキリスト教の役割と共に、ルーテル
学院の使命を深く受け止めています。
本学の使命実現のため、また一人
でも多く学生が与えられますように、変
わらぬお祈りとお支えをよろしくお願
いします。

9月23日(土・祝)は 一日神学校に 参加しましょう!

9:30 ~ 13:30
(9:00 受付開始)

ルーテル学院にて対面開催

主題

キリストの心を心とする

~関東大震災 100年とディアコニア~

プログラム

- 9:30 ~ 開会聖餐礼拝
- 10:50 ~ シンポジウム
- 12:00 ~ ミニショップ

秋の行事予定

- 10月22日(日) 三遠地区世話人会 (J浜松教会)
- 10月28日(土)・29日(日) 熊本地区世話人会・宗教改革記念合同行事 (J健康教会/九州ルーテル学院大学)
- 11月18日(土) オンライン拡大推進委員会
- 11月23日(木・祝) 甲信地区一日神学校 (J飯田教会)

他

オンライン 全国世話人代表会 首都圏世話人会

五月二十七日(土)、後援会の総会
にあたる「全国世話人代表会」を開催
しました(推進委員、地区世話人代表
など三十五名出席)。神月靖副会長の
司会で行い、後援会会長・JELC・
NRK代表・理事長からの挨拶、後援

6月24日(土) J博多教会にて
献身者を送り出す
祈りのつどいinふくおか
J保教教員 古財 武久

「福岡地区5教会の集い」(立山忠浩
校長の講演会)の前日に毎年恒例の世
話人会が開催されました(出席者
三十七名)。



礼拝の後、日笠山太吉さんの司会
懇親の時間が持たれ、立山校長からル
ーテル学院の現況についての説明があり
ました。私から「全国世話人代表会」
での報告事項を共有し、世話人の徳永
武雄さんからは「にじのかい」を発足
して次世代を中心に活動を始めたこと
が報告されました。

その後、各グループで話し合いを行い
「これからも後援会を通してルーテル
学院大学・日本ルーテル神学校を支え
ていきましょう」という司会者のまと
めの言葉で終了しました。皆様の声
が力強く感じられました。感謝申し上げ
ます。

会の活動報告、学院の近況報告の後、
三名の在学生が学生生活や将来の目標
について語りました。懇談会では、各
教会で課題となっている若い世代への
引き継ぎや、大学・神学校の入学者増
のためのアイデアを出し合いました。

七月二十二日(土)は四年ぶりに対
面で開催される「一日神学校」の情報
共有を主な目的として「首都圏世話人
会」を開催しました(出席者三十六

7月16日(日) J静岡教会にて
東静岡遠地区世話人会
J都南教員 菊池 一生城

立山忠浩校長の講演会に引き続き
て、世話人会が開催されました(出席
者十名)。

最初に後援会を代表して、芳賀美江
さんと私から二〇二二年度の献金総額
(三三〇〇万円)、「全国世話人代表会」
報告(学生減少の危機、懇談会で意見
交換)、六月から各地で地区世話人会
が再開されていることや「ホームカミ
ングデー」には四年ぶりに多数の卒業
生が三鷹に集まったことを報告し、各
教会からも近況が報告されました。



意見交換の時間では、ルーテル学院
では学生募集のための「戦略企画委員
会」を設置して教職員一同、背水の陣
で臨んでいることが報告され、大学に
学生を送るために「一日神学校」や
「オープンキャンパス」の活用や他教派
の学校との連携などが提案されました。

名)。菊池一生城さんの司会で進行し、
後援会・学院からの報告と二名の在学
生スピーチ、「一日神学校」の説明の
後、五グループに分かれて、日頃の後
援会活動や「一日神学校」についての
話し合いを行いました。

皆さまから頂いたご意見は推進委員
会で共有し、今後の活動に活かしてま
いります。ありがとうございます。
(事務局)

7月30日(日) J名古屋めぐみ教会にて
尾張岐阜地区世話人会
N六本木教員 神月 靖

石居基夫学長の講演奉仕終了後、
太田三男さんの司会で進行されまし
た(出席者十一名)。

石居先生からは大学の学生募集につ
いて非常に困難な状況にあることが報
告されました。首都圏の大学に送らな
くとも地元福祉系の学校に親は行か
せたいと思う、あるいは一生懸命献金
をしても大学の将来が不安など、オン
ラインだけでは得難い声も聞くことが
できました。石居先生が力強く「神学
校は絶対無くなりません」と言われ、
後藤由起先生から他教派の牧師候補探
しの一例も聞くことができました。

大学、神学校の将来を考える上で、
各地区とのコミュニケーションを維持
していくことは重要だと実感しました。



各地区の関係者の皆さまに心よりお
礼を申し上げます。
(事務局)